

実践記録（小4・国語科）

1 ねらい 自ら収集した情報と友達から収集した情報を整理することができるようにする。

2 手立て

- ・ 「情報見えるシート」に故事成語、意味、成り立ちを関連付けさせて、情報を整理する。
- ・ 整理した情報に友達からの情報を取り入れるために、学習支援ソフトウェアを活用する。タブレット型 PC の画面上で互いの「情報見えるシート」を共有し、友達から情報を収集して自分の「情報見えるシート」内に取り入れる。この情報を整理、収集する過程で、新たな知識を得ることができるようにする。



【「情報見えるシート」(上)と学習支援ソフトウェアを活用した交流イメージ(下)】

3 実践の様子

前時に収集した情報について確認させると、児童たちは故事成語の意味や成り立ちのつながりがすぐに分からなかった。そこで、「情報見えるシート」に示された分類に従って、収集した情報を整理する活動を行った。情報を分類し、矢印でつながりを結び付けたため、情報を関連付けて、分かりやすく整理することができた。

そして、整理した情報を共有する活動に取り組んだ。皆が集めてきた情報をタブレット型 PC の画面上で共有することで、友達が整理した故事成語も自分の「情報見えるシート」内に取り入れ新たな知識を得たり、友達の整理のした情報を見て分かりやすい整理の仕方に気付いたりすることができた。しかし、自分が気に入った情報のみを取り入れていたため、全体での発表では、取り込んだ情報の信ぴょう性を確認せずに発表する児童の姿が見られた。

4 成果と課題

- 「情報見えるシート」で、各項目に分類して関連するものを矢印で結び付けたことで、多くの情報を分かりやすく整理させることができた。
- 集めてきた情報を共有し、友達の整理された情報も参考にさせることで、分かりやすい整理の仕方に気付かせることができた。

- 自分が気に入った情報のみを取り入れ、取り込んだ情報の信ぴょう性を確認せずに発表する児童の姿が見られた。
- 「情報見えるシート」や学習支援ソフトウェアを操作するのに手間取る児童がいた。これは、タブレット型 PC の画面上で二つの活動を同時に行うことに不慣れであることが原因だと考える。今後も「情報見えるシート」や学習支援ソフトウェアを活用していく必要がある。